

しもやま か いのかみ
 23. 下山甲斐守堡 (110)

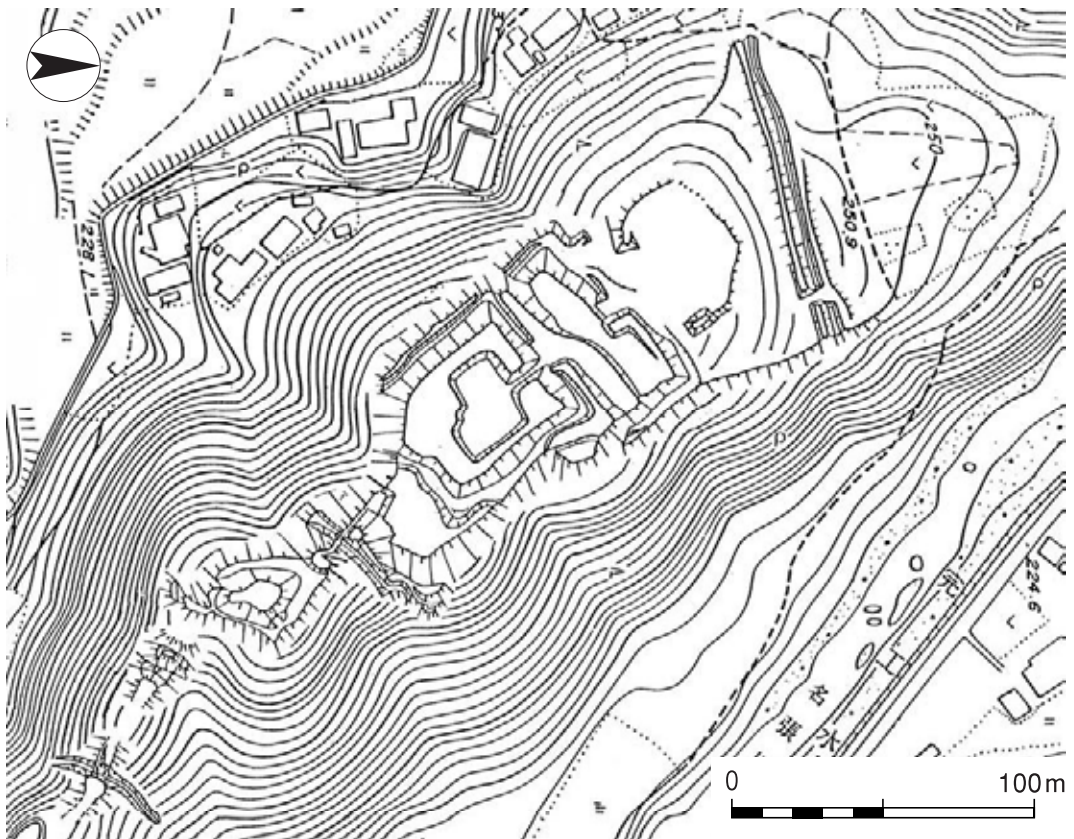
下比奈知字兼前

遺跡の概要 下山甲斐守堡は、つつじが丘団地の東側、下比奈知と上比奈知にまたがる丘陵上に位置している。城の北側および東側は名張川が流れ、西側は谷を挟んで丘陵となっている。城跡は北側を正面にして、東西105m×南北320mの範囲に広がり、東西の側面は急峻な丘陵となっている。

主要遺構 主郭はおよそ20m四方の方形部分を幅の広い土塁が囲み、外側を空堀が囲んでいる。主郭虎口の北側には鍵状の土塁が見られ、更に50m程の空閑地を挟んで長さ105mの土塁およびV字状の堀が設けられている。また、主郭の南側には、堀切や平坦地が多数設けられており、背後も嚴重に守られている。

下山甲斐守堡は、主郭の方形部を中心に多数の土塁や堀切を配置した防御性の高い城であり、現在も主郭や土塁などが良好に残存した貴重な城跡である。(新名 強)

【文献】『伊賀の中世城館』伊賀中世城館研究会 1997



縄張図 (1 : 2500) [文献より転載]